

クリック募金による障害者スポーツ応援募金の実施結果について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)は、社会貢献活動の一環として、昨年4月1日から本年3月20日までの間、トリノ冬季パラリンピック競技大会への出場を目指す障害者スポーツ選手・団体を応援するため、インターネットを活用したクリック募金(注)により、障害者スポーツ応援募金を実施してまいりました。その結果、**総額4,924,420円**の募金を集めることができました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

(注) クリック募金

当社ウェブサイト上の専用アイコンをクリックすると、クリックをした本人に代わって、当社がクリック数に応じた金額(クリック1回につき1円換算)を寄付する仕組み。

2. 集めた募金につきましては、毎月、特定非営利活動法人日本パラリンピック支援機構を通じて、財団法人日本障害者スポーツ協会、日本身体障害者アイススポーツ連盟日本スレッジホッケー委員会および特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟に寄付してまいりました。当該寄付金は、トリノ大会直前に開かれたワールドカップへの派遣費用をはじめ、選手強化費用および選手のための環境整備に使用されました。
3. パラリンピックは、身体障害者の国際スポーツ大会として1948年から開催されております。日本においては、財団法人日本障害者スポーツ協会およびその内部組織である日本パラリンピック委員会が日本選手団を派遣していますが、財政的に厳しく、サポートする同伴者の経費を含め、合宿や海外遠征などに要する費用の一部を出場選手が自己負担している状況にあります。こうしたことから、障害者スポーツを支援する目的で日本パラリンピック支援機構が設立され、企業や団体等へ募金箱の設置等と呼ばかれています。
4. なお、冬季パラリンピック競技大会における日本選手の参加者は毎回増加傾向にあり、今回のトリノ大会では、日本以外で開催される大会としては過去最多の40名の選手が派遣され、9個のメダルを獲得する成績をおさめました。

以上